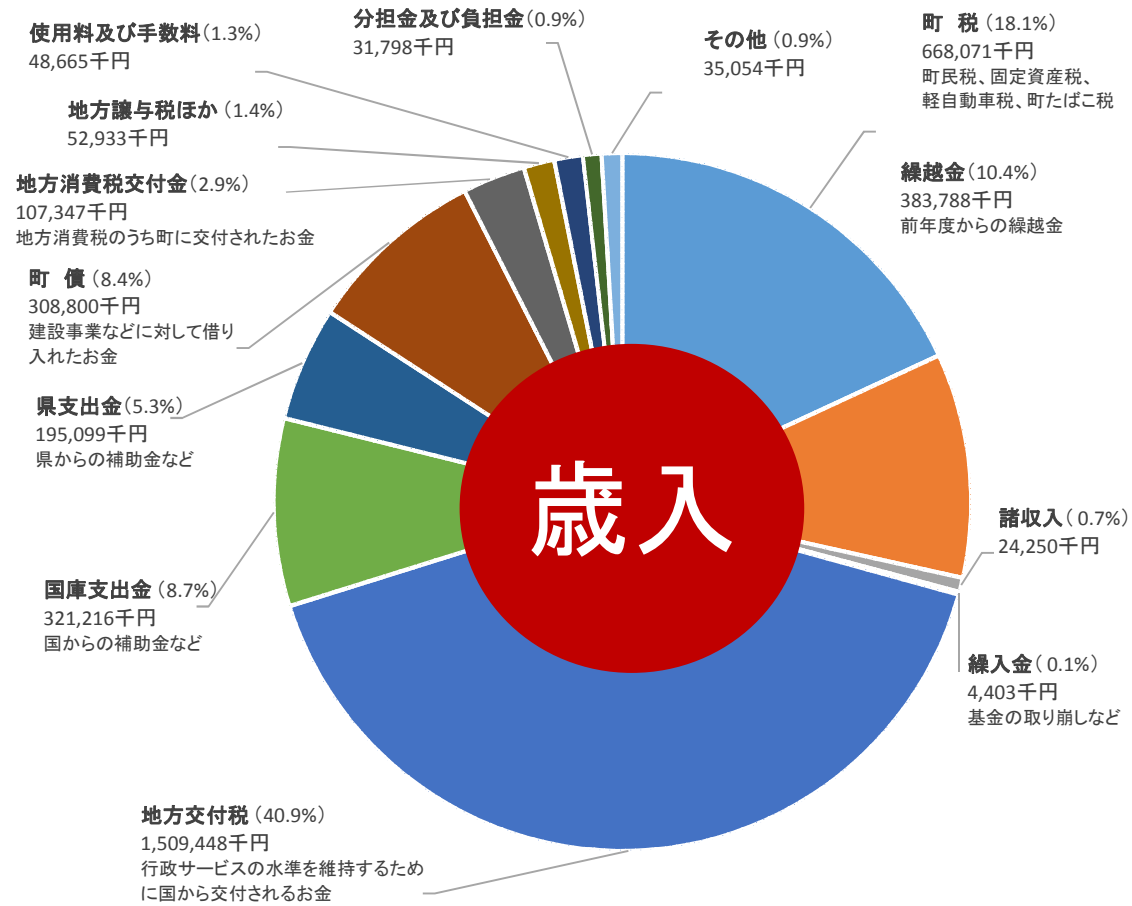


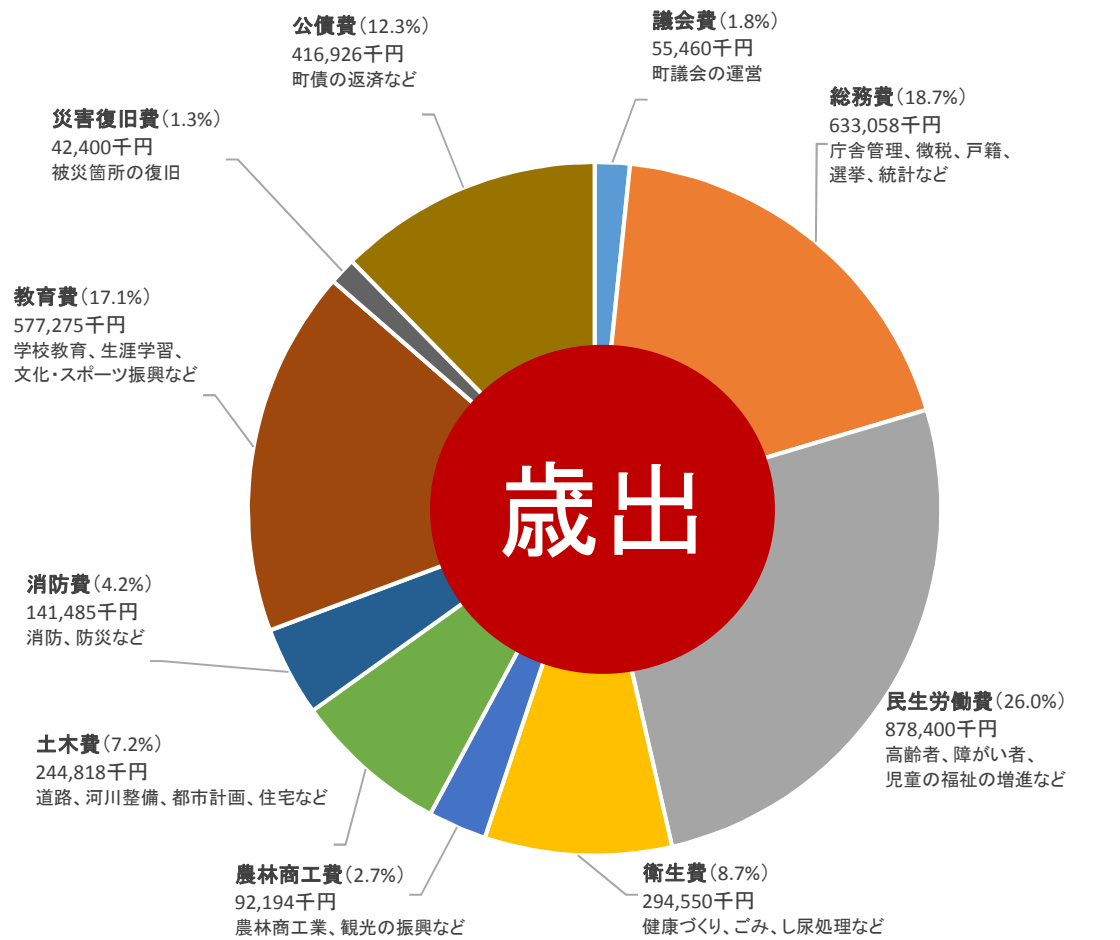
平成29年度決算

一般会計

歳入 36億9087万2千円



歳出 33億7656万6千円



一般会計
 実質収支は
 2億5290万4千円の黒字
 単年度収支は
 3758万8千円の赤字
 一般会計決算額は、歳入が36億9087万2千円、歳出が33億7656万6千円で差し引き、3億1430万6千円の黒字とな

りました。このうち平成30年度に実施する事業の財源6140万2千円を差し引くと、実質収支は2億5290万4千円の黒字となりました。しかし、前年度の実質収支が2億9049万2千円でしたので、これを差し引いた単年度収支は3758万8千円の赤字となりました。

平成29年度の決算が平成30年町議会第3回定例会で認定されました。決算は、町にどれだけのお金が入り、どのような事業に使ったかを表す家計簿です。決算を通して、みなさんに納めていただいた税金をどのような事に使わせていただいたか、町の財政状況などの概要をお知らせします。(千円未満は四捨五入)

会計別の決算

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	3,690,872千円	3,376,566千円	314,306千円	
特別会計	学校給食特別会計	27,162千円	27,162千円	0千円
	国民健康保険特別会計	1,062,497千円	1,035,321千円	27,176千円
	下水道事業特別会計	207,091千円	195,992千円	11,099千円
	後期高齢者医療特別会計	112,082千円	111,015千円	1,067千円
	介護保険特別会計	821,527千円	806,053千円	15,474千円
企業会計	収入額	支出額	差引額	
水道事業会計	収益的収入及び支出	221,620千円	190,698千円	30,922千円
	資本的収入及び支出	4,230千円	32,445千円	▲28,215千円

歳入

歳入の決算額は36億9087万2千円でした。歳入の大部分を占める町税や地方交付税が微増、また、町債、繰越金も増加し、前年度に比べ7354万4千円(2.0%)の増加となりました。

健全化判断比率
 4つの指標全て基準値内
 自治体が財政破綻することを未然に防ぎ、破綻しそうな自治体の財政を早期改善するため、財政状況を4つの指標として数値化します。

歳出

歳出の決算額は33億7656万6千円で、前年度より1億4302万6千円(4.4%)の増加となりました。これは、町道の維持補修事業、高取町立給食センター建設事業、平成29年10月に発生した台風21号関連の災害復旧事業の実施によるものです。

高取町では、4つの指標全て、基準値内の結果となりました。

特別会計

5つの会計決算は全て黒字
 特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、5つの特別会計の決算額は右表のとおりです。

水道事業会計

収益的収支は
 3092万2千円の黒字
 独立採算で運営を行う公営企業に水道事業があります。決算額は右表のとおりです。収益的収支は損益計算による当年度純利益が2659万2千円の黒字となりました。なお資本的収支は2882万1千円の不足が生じたため、当年度損益勘定留保資金や積立金などで補填しました。

◆高取町の財政健全化判断比率◆

健全化判断項目	高取町 (平成29年度比率)	早期健全化 基準	財政再生 基準
①実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
②連結赤字比率	—	20.0%	30.0%
③実質公債費比率	8.8% (3カ年平均)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	121.0%	350.0%	—

早期健全化基準…財政状況が悪化しつつあり、早期に改善が必要な基準
 財政再生基準…行政運営に国や県の関与や助言を受ける基準

〔用語説明〕
 ①実質赤字比率
 一般会計等の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標
 ②連結実質赤字比率
 一般会計等と特別会計、企業会計の合計の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標
 ③実質公債費比率
 標準的な年間収入に対して、地方交付税などで措置される部分を除いた借金の返済額の割合
 ④将来負担比率
 標準的な年間収入に対して、将来負担しなければならぬ借金などの割合